

令和4年

# 救急統計

(1月～12月)



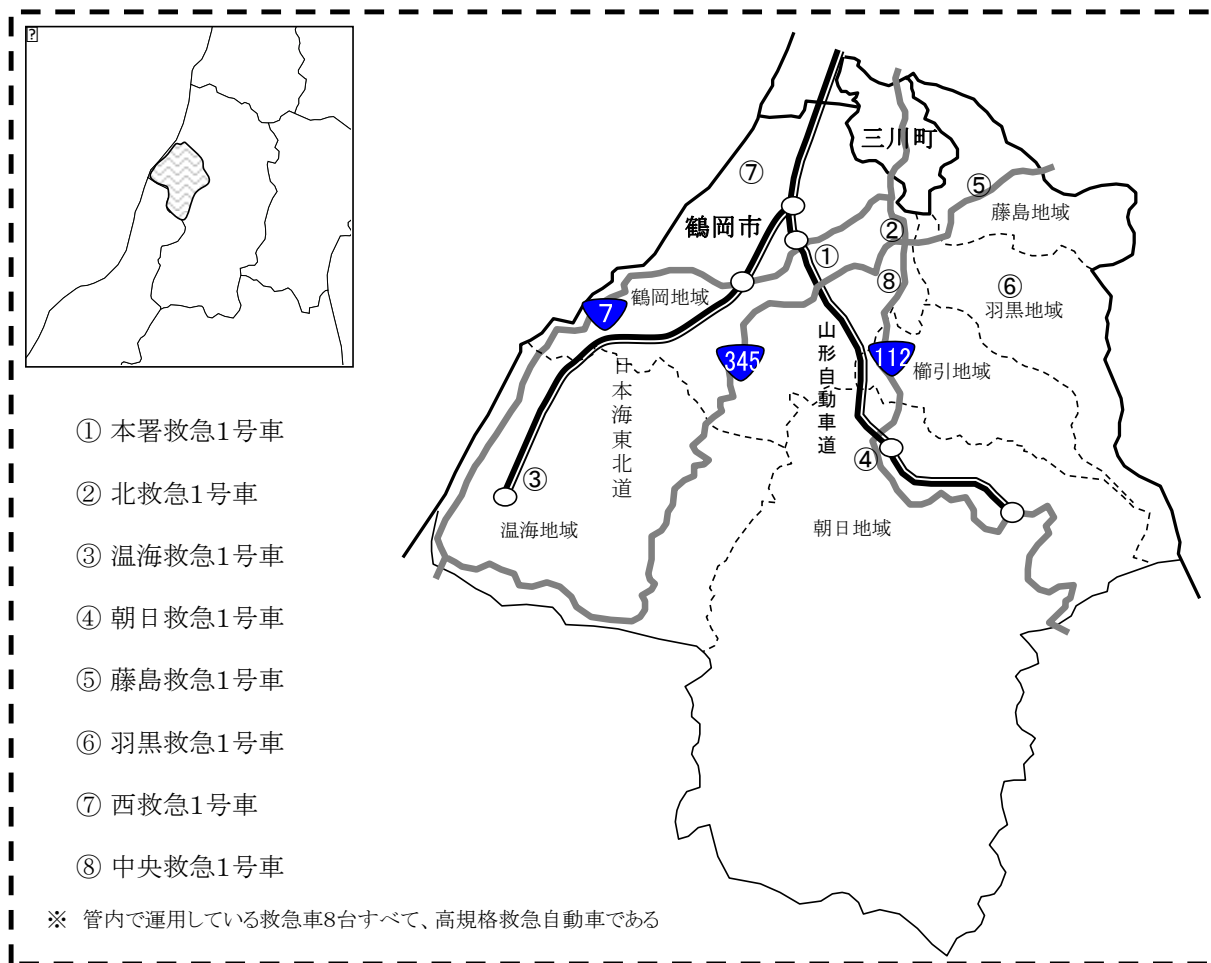
鶴岡市消防本部

# 目 次

1	管内図及び救急車配置図	1
2	管内人口と医療機関数	1
3	救急の概況	2
4	救急活動状況	4
5	医療機関別搬送人員の状況	6
6	月別出動状況	6
7	曜日別出動状況	7
8	時間帯別出動状況	7
9	傷病程度及び事故種別搬送人員状況	8
10	年齢区分別搬送人員状況	9
11	疾病分類別搬送人員状況	9
12	急病及び一般負傷の発生場所状況	10
13	現場到着所要時間状況（入電～現場まで）	10
14	収容所要時間状況（入電～医療機関等まで）	11
15	住所別搬送人員状況	11
16	月別出動件数と搬送人員状況	12
17	心肺蘇生法の状況	13
18	特定行為及び除細動等の状況	13
19	救急隊員の行った応急処置の状況	14
20	応急手当普及啓発活動の状況	17
21	事故種別出動・搬送人員状況（過去5年間）	18

※表内の「元年」とは、平成31年1月1日から令和元年12月31日をいう。以下ことわりのない限り同じ。

# 1 管内図及び救急車配置図



# 2 管内人口と医療機関数

(令和4年3月31日現在)

市町	区分	人口 (人)	国公立		私的		計 (施設)
			病院	診療所	病院	診療所	
鶴岡市	鶴岡市	121,365	3 [ 1 ]	4	3 [ 2 ]	80	90 [ 3 ]
	鶴岡	87,281	3 [ 1 ]	2	2 [ 2 ]	64	71 [ 3 ]
	藤島	9,512				3	3
	羽黒	7,618				2	2
	榎引	6,771			1	5	6
	朝日	3,649		2			2
	温海	6,534				6	6
三川町	三川町	7,282			1	3	4
合計		128,647	3 [ 1 ]	4	4 [ 2 ]	83	94 [ 3 ]

[ ]は、救急告示医療機関

### 3 救急の概況

高齢化の進展に加え、環境や生活様式の変化等を背景として、救急需要は多様化している。近年は新型の感染症への対応が大きな課題となっており、感染防止対策を講じながら的確に住民ニーズに応えるため、救急隊員の資質向上、通信指令員の口頭指導要領の強化及び救急資器材の計画的な整備を進め、救急業務の高度化の推進に努めている。

また、令和2年12月から12誘導心電図伝送システムを導入し、救急隊が現場で心電図を測定し医療機関へ伝送することで、医師が早期に閲覧・治療判断が可能となっている。

応急手当普及啓発活動については、バイスタンダー(その場に居合わせた人)による積極的な応急手当とAED(自動体外式除細動器)の有効活用による救命率向上を図るため、新しい生活様式に沿った普通救命講習や各種救急講習を実施している。

#### (1) 救急出動件数と搬送人員

令和4年中の救急出動件数は6,024件で前年と比べ365件(6.4%)増加している。搬送人員は5,367人で前年と比べ264人(5.2%)増加している(第1表)。

また、出動件数は、1日平均16.5件(前年15.5件)出動し、管内住民の24人(前年26人)に1人が救急搬送されたことになる。

#### (2) 事故種別出動件数

出動件数を事故種別で見ると、急病が4,288件で最も多く、全体の71.2%を占めている。次いで一般負傷が864件(14.3%)、転院搬送が461件(7.7%)、交通事故が227件(3.8%)となっている(第1表)。

#### (3) 年齢区分別搬送人員状況

年齢区分別による搬送人員状況を見ると、高齢者(65歳以上)の搬送が4,035人で最も多く、全搬送人員の75.2%を占めている。次いで成人(18~64歳)が1,086人(20.2%)となっている。(第2表)。

高齢者の事故種別による搬送人員は、4,035人のうち急病2,979人、一般負傷626人、転院搬送327人となっており、いずれの事故種別においても他の年齢層と比べ最も多い状況にある。

また、高齢者福祉施設等からの搬送は、705人(前年600人)となっている。

#### (4) 現場到着所要時間

入電から現場到着まで要した時間は、5分以上10分未満が3,441件で最も多く、全体の57.1%を占めている。次いで10分以上20分未満が2,071件(34.4%)、20分以上が267件(4.4%)、3分以上5分未満が227件(3.8%)、3分未満が18件(0.3%)の順となっている。また、平均現場到着所要時間は9.6分(前年9.1分)で、令和3年の全国平均現場到着所要時間 9.4分より0.2分長くなっている(第4表)。

#### (5) 医療機関収容所要時間

入電から医療機関に収容するまで要した時間は、30分以上60分未満が3,436人(64.0%)で最も多く、次いで20分以上30分未満が1,179人(22.0%)となっている。平均医療機関収容所要時間は42.0分(前年39.2分)で、令和3年の全国平均医療機関収容所要時間の42.8分より0.8分短くなっている(第5表)。

#### (6) 救急処置の状況

##### ア 救命処置の実施状況

救急救命士の運用を平成8年4月1日から開始し、現在では管内8救急隊(本署、北分署、温海分署、朝日分署、藤島分署、羽黒分署、西分署、中央分署)全てが高規格救急自動車となっている。

救急救命士は本署10人、中央分署、西分署、北分署6人、温海分署、朝日分署、藤島分署、羽黒分署にそれぞれ4人を配置し運用しており、心肺機能停止の傷病者に特定行為である「器具を用いての気道確保」「静脈路確保」及び認定救急救命士による「気管挿管」「薬剤投与」の医療行為を医師の指示に基づいて実施している。また、平成26年度からは、心肺機能停止前の重度傷病者に対して「静脈路確保」及び「低血糖発作症例へのブドウ糖投与」を医師の指示に基づいて実施している。

令和4年中に心肺蘇生法を実施した件数は191件(前年154件)で、特定行為は気道確保121件、静脈路確保135件(うち心肺機能停止症例94件、心肺機能停止前症例41件)、薬剤投与81件(うちアドレナリン投与48件、ブドウ糖投与33件)となっている。また除細動については20件実施している。

救急隊が心肺蘇生法を行い心拍または呼吸が再開した傷病者は14人で、心拍再開率は7.3%となっている(第9図、第8表)。

##### イ 応急処置の実施状況

救急隊員が応急処置を行った傷病者は、5,367人と全ての搬送者に実施しており、処置内容では、血中酸素飽和度測定5,164人(96.2%)、血圧測定5,062人(94.3%)、心電図2,910人(54.2%)などの傷病者観察が多い(第9表)。

#### (7) 応急手当普及啓発活動の状況

応急手当は、その場に居合わせた人が行うことでより高い効果が期待される。このことから当消防本部では平成7年に制定した「応急手当普及啓発活動実施要綱」(令和2年4月1日改正)に基づき、AED(自動体外式除細動器)の使用方法を含めた普及啓発活動を推進している。

令和4年中の応急手当普及啓発活動の状況は、新しい生活様式に沿った普通救命講習や各種救急講習を実施している。実施要綱に基づく救命講習の普通救命講習Ⅰ(3時間)が11回で146人、普通救命講習Ⅲ(3時間)は4回で35人となっている。また、実施要綱に基づく救命講習以外の救急講習は67回で1,547人となっている(第10表)。

## 4 救急活動状況

第1表 救急活動状況

区分 事故種別	出 動 件 数	搬 送 件 数	搬 送 人 員			傷 病 程 度					覚 知 種 別					
			男	女	計	軽 症	中 等 症	重 症	死 亡	そ の 他 * 2	一 一 九	加 入 電 話	駆 付	そ の 他 * 3		
火 災 事 故	本年	10	5	3	5	8	3	3	2			8			2	
	前年	5	1	1		1			1			4			1	
自然災害事故	本年	3	1	1	1	2	2						1		2	
	前年															
水 難 事 故	本年	4										2			2	
	前年	7	1	1		1				1		4			3	
交 通 事 故	本年	227	173	99	85	184	147	28	7	2		154	7	1	65	
	前年	240	196	107	107	214	172	31	9	2		189	2		49	
労働災害事故	本年	62	62	53	9	62	27	27	7	1		60		2		
	前年	62	60	49	11	60	34	19	7			61			1	
運動競技事故	本年	18	16	12	4	16	14	2				18				
	前年	12	12	10	2	12	9	2	1			12				
一 般 負 傷	本年	864	771	306	465	771	406	279	72	14		837	7	4	16	
	前年	818	759	337	423	760	410	242	97	11		772	9	12	25	
加 害 事 故	本年	7	3		3	3	3					5			2	
	前年	8	5	2	3	5	4	1				7			1	
自 損 行 為	本年	41	20	9	11	20	4	6	2	8		34			7	
	前年	37	21	10	12	22	6	9	4	3		31			6	
急 病	本年	4,288	3,838	1,936	1,904	3,840	1,614	1,866	224	136		4,212	23	19	34	
	前年	3,960	3,584	1,844	1,740	3,584	1,562	1,749	168	105		3,881	22	18	39	
そ の 他	転院搬送	本年	461	458	221	237	458	13	383	59	3		337	3		121
		前年	442	442	233	209	442	19	346	77			323	16		103
	医師搬送	本年														
		前年														
	資器材搬送	本年														
		前年														
	その他*1	本年	39	3	1	2	3	1		1	1		31	2	1	5
		前年	68	2	2		2	1		1			64	1		3
合 計	本年	6,024	5,350	2,641	2,726	5,367	2,234	2,594	374	165		5,698	43	27	256	
	前年	5,659	5,083	2,596	2,507	5,103	2,217	2,399	365	122		5,348	50	30	231	
昨年との比較		365	267	45	219	264	17	195	9	43		350	△ 7	△ 3	25	

(備考) 1 △は負数を表す。以下本統計において、ことわりのない限り同じ。

2 表中のその他(\*1 \*2 \*3 \*4)とは、下記のをいう。

\*1 正常分娩及び事故原因が断定できないもの等をいう。

\*2 医師の診断がないもの等をいう。

\*3 警察専用回線及び病院専用回線等をいう。

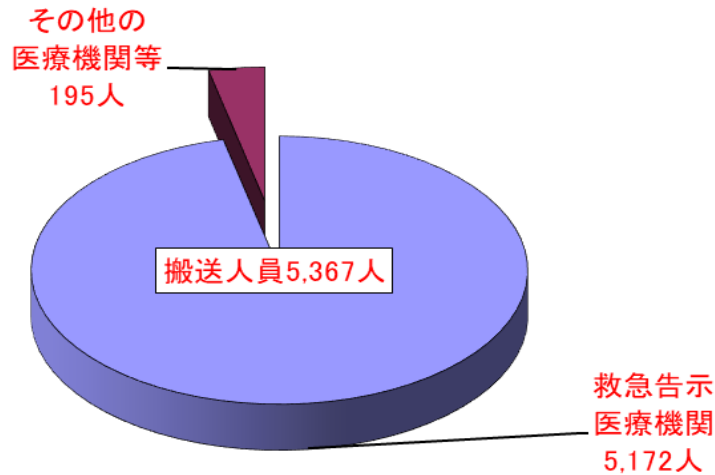
\*4 不搬送内訳に分類されないものをいう(症状回復した場合、傷病者が自家用車等で自力受診した場合など)。

不 搬 送 内 訳								市 町 別 出 動 件 数									
辞 退 ( 到 着 前 )	辞 退 ( 到 着 後 )	拒 否	明 ら か な 死 亡	他 車 ( 隊 ) 搬 送	傷 病 者 な し	誤 報 ・ 悪 戯	そ の 他 * 4	計	鶴 岡 市	市 町 別						三 川 町	そ の 他
										鶴 岡	藤 島	羽 黒	櫛 引	朝 日	温 海		
	1		2		1		1	5	10	6	4						
		1	2				1	4	5	4			1				
			1	1				2	3	3							
	1		1		1		1	4	4	3	1						
	1	2	3					6	7	7							
	26	1		5	9		13	54	201	142	11	12	7	13	16	26	
	13	9		3	11		8	44	219	145	8	22	18	17	9	21	
									56	40	4		5	3	4	6	
	1		1					2	56	32	7	6	6	2	3	6	
	1						1	2	17	12		1	2	1	1	1	
									12	7	2	2		1			
2	47	5	2	3	3	1	30	93	818	550	55	57	44	38	74	46	
2	13	16	5	1	7		15	59	771	533	47	47	50	28	66	47	
	3	1						4	6	5	1					1	
		1			2			3	8	6	1	1					
			18				3	21	38	24	2	2	4	4	2	3	
		1	14				1	16	36	29	1	1	3		2	1	
12	161	28	113	9	9		118	450	4,065	2,851	298	255	206	180	275	223	
9	91	49	124	1	17		85	376	3,751	2,647	260	229	193	140	282	209	
					1		2	3	448	360	9	2	52		25	13	
									429	357	10	1	49		12	13	
	1		4		22	6	3	36	38	24	1	5	4		4	1	
1	1	1	2		36	20	5	66	65	53	4	5	2		1	3	
14	241	35	141	18	46	7	172	674	5,704	4,020	386	334	324	239	401	320	
12	120	80	151	5	73	20	115	576	5,359	3,820	340	314	322	188	375	300	
2	121	△ 45	△ 10	13	△ 27	△ 13	57	98	345	200	46	20	2	51	26	20	

## 5 医療機関別搬送人員の状況

医療機関等へ搬送された 5,367 人のうち、救急告示医療機関への搬送は 5,172 人で全体の 96.4%を占めている。鶴岡市立荘内病院が 3,805 人(70.9%)で最も多く、管内私的救急告示医療機関である 2 病院が 697 人(13.0%)、管外の救急告示医療機関が 670 人(12.5%)となっている(第 1 図)。

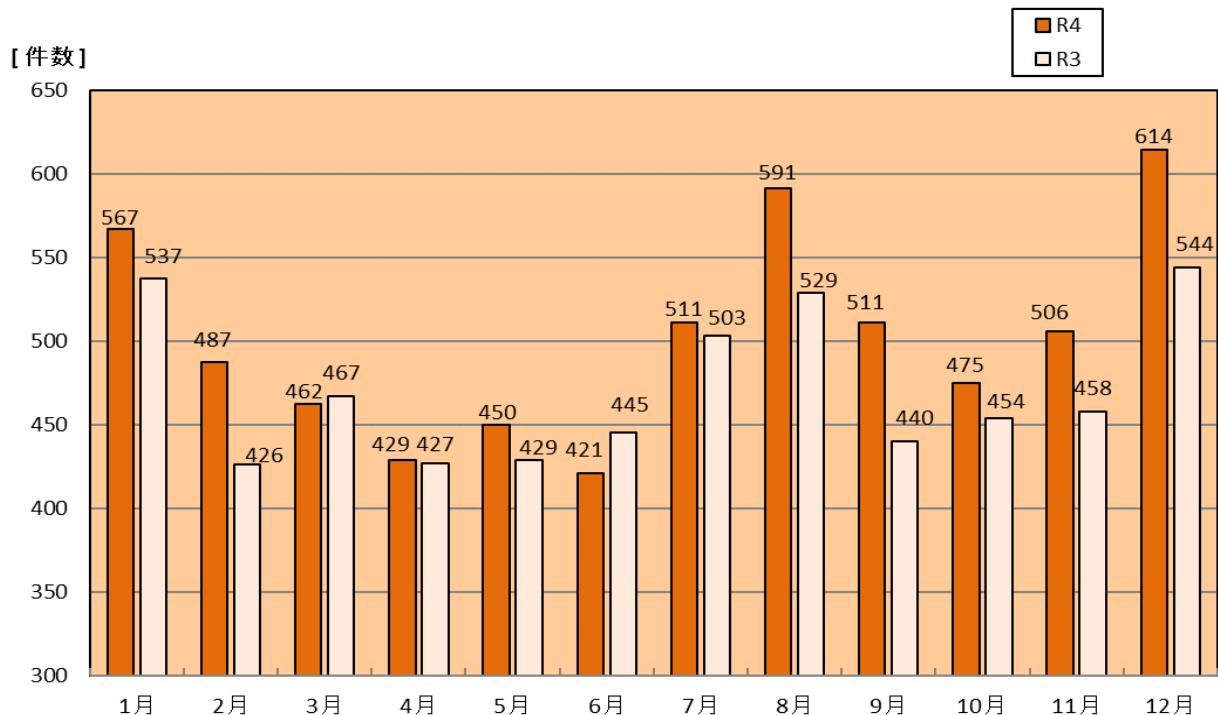
第 1 図 医療機関別搬送人員の状況



## 6 月別出動状況

月別出動状況は、12月が 614 件と最も多く、次いで 8月が 591 件、1月が 567 件となっている(第 2 図)。

第 2 図 月別出動状況

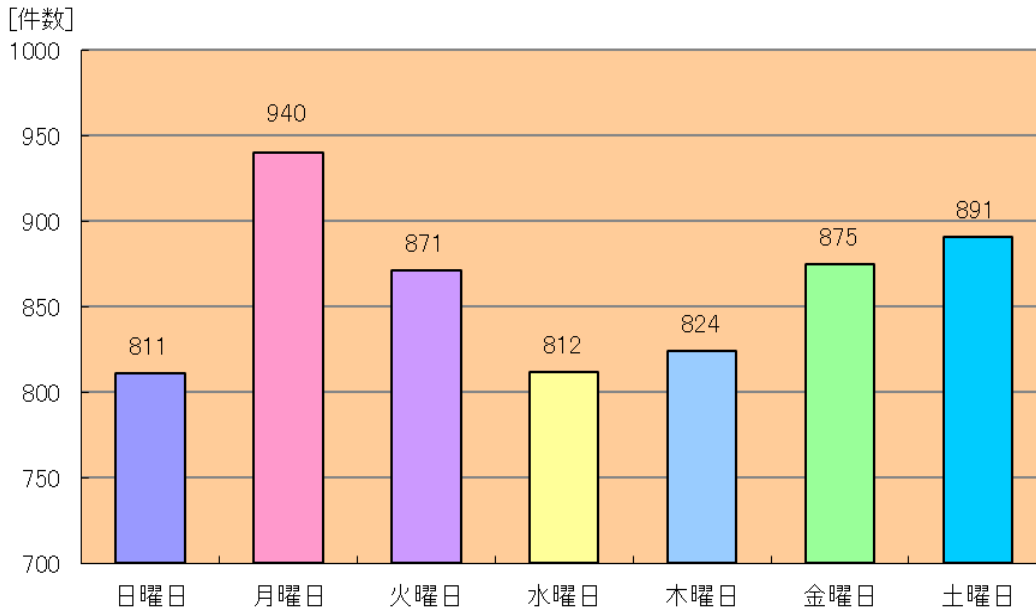




## 7 曜日別出動状況

曜日別出動状況は、月曜日が940件で最も多く、次いで土曜日が891件、金曜日が875件となっている(第3図)。

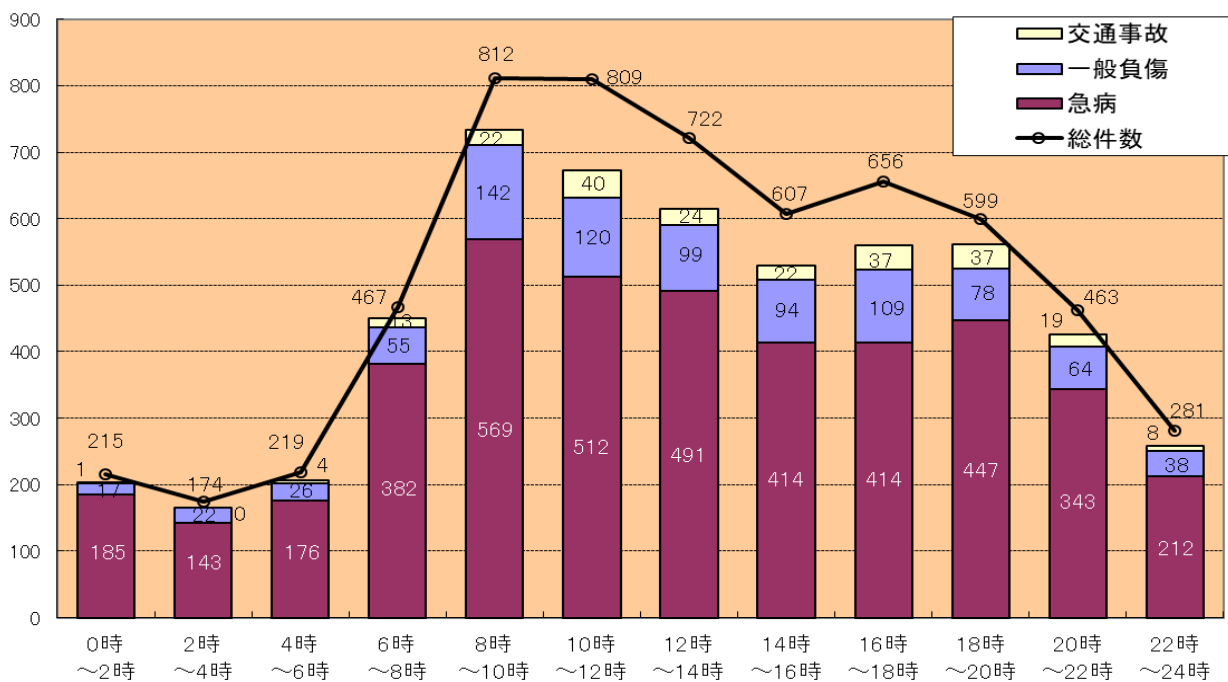
第3図 曜日別出動状況



## 8 時間帯別出動状況

時間帯別出動状況は、8時から10時までが812件(13.5%)と最も多く、2時から4時までが174件(2.9%)と最も少ない(第4図)。

第4図 時間帯別出動状況



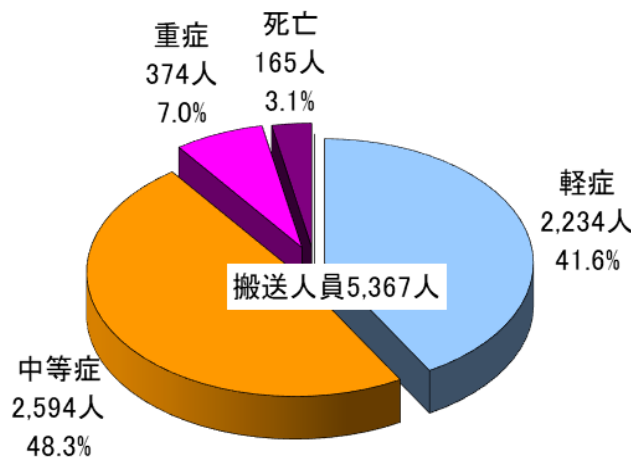
## 9 傷病程度及び事故種別搬送人員状況

傷病程度別搬送人員の状況は、中等症が2,594人と最も多く次いで軽症、重症、死亡の順となっている(第5図)。

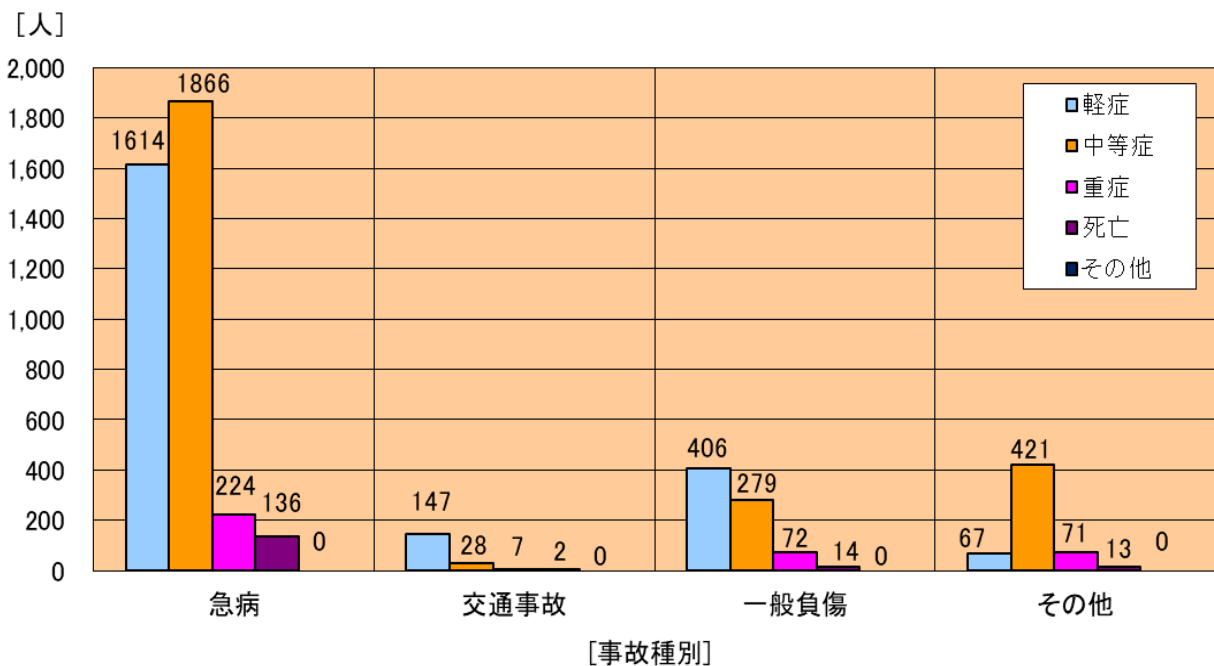
事故種別傷病程度別搬送人員の状況は、急病の中等症が1,866人(34.8%)で最も多く、次いで急病の軽症が1,614人(30.1%)、その他の中等症が421人(7.8%)となっている。

また、搬送された傷病者のうち入院を必要とする中等症・重症の割合は、急病 2,090人(38.9%)その他 492人(9.2%)、一般負傷 351人(6.5%)で、全体では2,968人(55.3%)となっている(第6図)。

第5図 傷病程度別搬送人員状況



第6図 事故種別搬送人員状況



(備考) 事故種別の「その他」とは、急病・交通事故・一般負傷を除く事故種別のものをいう。

## 10 年齢区分別搬送人員状況

年齢区分別では、高齢者(65歳以上)が4,035人(75.2%)で最も多く、次いで成人(18～64歳)が1,086人(20.2%)となっている。また、傷病程度別では中等症、軽症、重症の順となっている(第2表)。

第2表 年齢区分別搬送人員状況

年齢区分 傷病程度	新生児		乳幼児		少年		成人		高齢者		計(人)	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
死亡							18	1.7	147	3.6	165	3.1
重症	2	18.2	1	0.8	1	1.0	59	5.4	311	7.7	374	7.0
中等症	8	72.7	69	53.1	21	20.0	372	34.3	2,124	52.6	2,594	48.3
軽症	1	9.1	60	46.2	83	79.0	637	58.7	1,453	36.0	2,234	41.6
その他												
合計	11	100	130	100	105	100	1,086	100	4,035	100	5,367	100
構成比(%)	0.2		2.4		2.0		20.2		75.2		100	

(備考) 合計欄の値が四捨五入により各値の合計と一致しない場合がある。以下ことわりのない限り同じ。

## 11 疾病分類別搬送人員状況

急病による搬送人員は、3,840人で前年より256人増加している。疾病分類別では循環器系が494人(12.9%)となっている。そのうち傷病程度は中等症が328人(66.4%)、重症が110人(22.3%)となっている(第3表)。

第3表 疾病分類別搬送人員状況

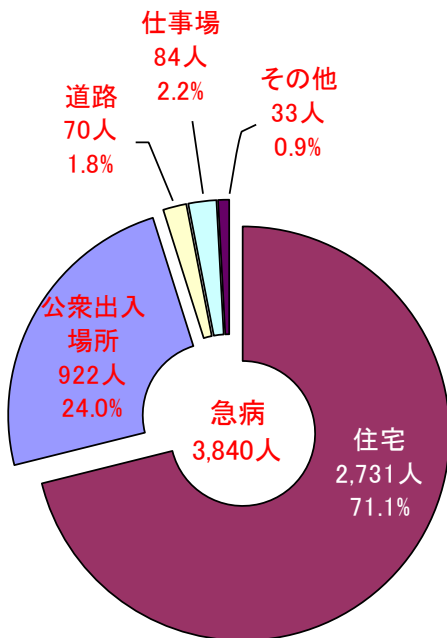
疾病分類 傷病程度	循環器系				消化系		呼吸系		精神系		感覚系	
	脳疾患		心疾患等									
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
死亡	2	0.7	11	5.7			6	3.5				
重症	84	27.9	26	13.5	3	1.6	18	10.4				
中等症	209	69.4	119	61.7	115	61.8	133	76.9	7	22.6	28	48.3
軽症	6	2.0	37	19.2	68	36.6	16	9.2	24	77.4	30	51.7
合計	301	100	193	100	186	100	173	100	31	100	58	100
構成比(%)	7.8		5.0		4.8		4.5		0.8		1.5	

疾病分類 傷病程度	泌尿系		新生物		その他		症状・徴候・診断名 不明確の状況		計(人)	
		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)		構成比 (%)
死亡			4	13.3	1	0.5	112	4.3	136	3.5
重症	1	1.4	1	3.3	14	6.4	77	3.0	224	5.8
中等症	32	46.4	20	66.7	109	49.8	1,094	42.4	1,866	48.6
軽症	36	52.2	5	16.7	95	43.4	1,297	50.3	1,614	42.0
合計	69	100	30	100	219	100	2,580	100	3,840	100
構成比(%)	1.8		0.8		5.7		67.2		100	

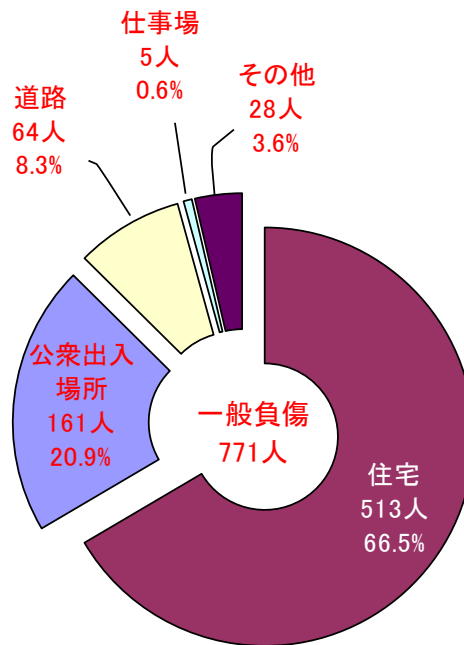
## 12 急病及び一般負傷の発生場所状況

急病及び一般負傷における発生場所別搬送人員の割合をみると、どちらも住宅での発生が多く特に急病は2,731人(71.1%)となっている(第7図、第8図)。

第7図 急病の発生場所状況



第8図 一般負傷の発生場所状況



## 13 現場到着所要時間状況(入電～現場まで)

入電から現場到着までに要した時間は平均で9.6分となっている。また、5分から10分未満に現場到着した件数は、3,441件(57.1%)と最も多くなっている(第4表)。

第4表 現場到着所要時間状況(入電～現場まで)

隊名	時間					計(件)	平均(分)
	3分未満	3～5分	5～10分	10～20分	20分以上		
本署救急隊	3	51	654	427	79	1,214	10.2
北救急隊	2	28	742	402	16	1,190	8.9
温海救急隊	4	8	142	178	72	404	12.9
朝日救急隊	3	19	155	160	26	363	10.8
藤島救急隊	4	26	240	149	6	425	9.0
羽黒救急隊		2	157	190	22	371	11.7
西救急隊	1	5	214	247	20	487	10.6
中央救急隊	1	88	1,137	318	26	1,570	8.0
合計	18	227	3,441	2,071	267	6,024	9.6
構成比(%)	0.3	3.8	57.1	34.4	4.4	100	-

## 14 収容所要時間状況(入電～医療機関等まで)

出動件数 6,024 件のうち医療機関等に収容された人員は 5,367 人となっている。医療機関等に収容されるまでの所要時間では 30 分から 60 分未満が 3,436 人(64.0%)で最も多くなっている。なお、医療機関等までの平均収容所要時間は 42.0 分となっている(第 5 表)。

第 5 表 収容所要時間状況(入電～医療機関等まで)

時間 隊名	10分 未満	10分 ～20分	20分 ～30分	30分 ～60分	60分 ～120分	120分 以上	計 (人)	平均 (分)
本 署 救 急 隊		23	257	660	123	10	1,073	41.4
北 救 急 隊		9	357	635	56	3	1,060	36.7
温 海 救 急 隊			3	157	212	2	374	63.6
朝 日 救 急 隊			7	266	58	2	333	48.6
藤 島 救 急 隊			41	306	33		380	42.3
羽 黒 救 急 隊			5	265	54	3	327	50.1
西 救 急 隊			2	377	64	3	446	49.2
中 央 救 急 隊		33	507	770	63	1	1,374	34.8
合 計		65	1,179	3,436	663	24	5,367	42.0
構成比 (%)	-	1.2	22.0	64.0	12.4	0.4	100.0	-

## 15 住所別搬送人員状況

搬送人員 5,367 人のうち、管内に住所を有する者は 5,062 人(94.3%)、管外に住所を有する者は 302 人(5.6%)、その他 3 人(0.1%)となっている。前年と比較して、管内住所者については 187 人の増加、管外住所者については 77 人の増加となっている(第 6 表)。

第 6 表 住所別搬送人員状況

種別 区分	火 災	自 然 災 害	水 難 事 故	交 通 事 故	労 災 事 故	運 動 競 技	一 般 負 傷	加 害 事 故	自 損 行 為	急 病	そ の 他	計 (人)
管内住所者	8	1	0	140	50	10	723	2	18	3,674	436	5,062
管外住所者	0	1	0	43	12	6	48	1	2	164	25	302
その他	0	0	0	1	0	0	0	0	0	2	0	3
合 計	8	2	0	184	62	16	771	3	20	3,840	461	5,367

(備考)表中区分「その他」とは、外国人旅行者など国内に住所を置いていないものをいう。

## 16 月別出動件数と搬送人員状況

第7表 月別出動件数と搬送人員状況

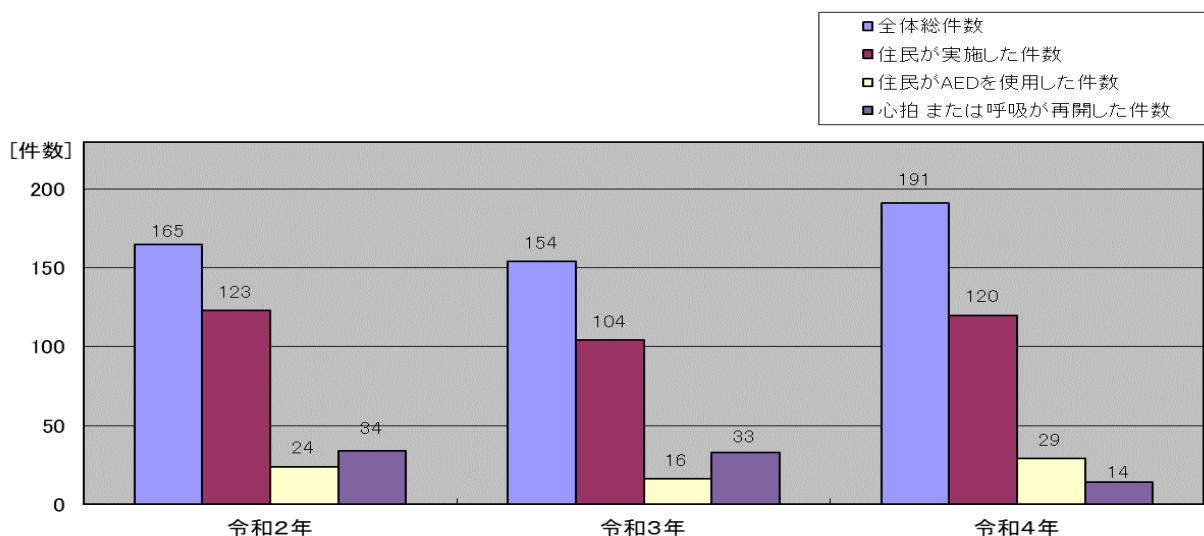
月	種別	火	自	水	交	労	運	一	加	自	急	そ	計
		災	然	難	通	災	動	般	害	損	病	他	
1月	出動件数(件)	1			11	4		95	1	4	401	50	567
	搬送人員(人)				8	4		87		3	356	47	505
2月	出動件数(件)	4			22	4		75	1	3	340	38	487
	搬送人員(人)	3			20	4		71	1	2	300	37	438
3月	出動件数(件)			1	9	3	1	58			348	42	462
	搬送人員(人)				6	3	1	53			304	38	405
4月	出動件数(件)	1			13	4	3	55		3	304	46	429
	搬送人員(人)				8	4	3	50		2	283	43	393
5月	出動件数(件)	1			35	7	3	56	2	10	292	44	450
	搬送人員(人)				35	7	2	51	1	2	269	40	407
6月	出動件数(件)				16	3	3	66	1	2	295	35	421
	搬送人員(人)				9	3	3	62	1	2	268	32	380
7月	出動件数(件)				28	3		60		2	383	35	511
	搬送人員(人)				25	3		51			344	33	456
8月	出動件数(件)				21	8	1	91		2	414	54	591
	搬送人員(人)				20	8	1	78		1	370	48	526
9月	出動件数(件)			2	29	8	5	66	1	7	362	31	511
	搬送人員(人)				19	8	5	57		3	327	28	447
10月	出動件数(件)	2			18	4		72		4	339	36	475
	搬送人員(人)	1			16	4		65		2	300	35	423
11月	出動件数(件)			1	8	8	1	79	1	2	364	42	506
	搬送人員(人)				4	8		70		2	326	36	446
12月	出動件数(件)	1	3		17	6	1	91		2	446	47	614
	搬送人員(人)	4	2		14	6	1	76		1	393	44	541
合計	出動件数(件)	10	3	4	227	62	18	864	7	41	4,288	500	6,024
	搬送人員(人)	8	2		184	62	16	771	3	20	3,840	461	5,367

## 17 心肺蘇生法の状況

救急隊が心肺蘇生法を実施した件数は191件で、そのうち心拍または呼吸が再開した件数は14件となっている(第9図)。

また、救急隊が現場に到着するまでに住民等により心肺蘇生法、または人工呼吸および胸骨圧迫のいずれかが実施された件数は120件で、この内AEDを使用した件数は29件となっている(第9図)。

第9図 心肺蘇生法の状況



## 18 特定行為及び除細動等の状況

第8表 特定行為及び除細動等の状況

処置	市								計(件)		
	鶴岡市	鶴岡	藤島	羽黒	櫛引	朝日	温海	三川町			
心肺蘇生件数	179	115	15	12	14	12	11	12	191		
特定行為	心肺機能停止	気道確保	113	70	10	8	10	7	8	121	
		静脈路確保	84	53	7	10	6	3	5	10	94
		薬剤投与	45	30	2	5	4	1	3	3	48
	心肺機能停止前	静脈路確保	37	20	2	4	3	6	2	4	41
		ブドウ糖投与	31	25	1	2	1	0	2	2	33
		エピペン投与	0	0	0	0	0	0	0	0	0
合計(件)	310	198	22	29	24	17	20	27	337		
血糖測定	348	267	15	16	25	16	9	10	358		
除細動	19	7	1	4	2	1	4	1	20		

## 19 救急隊員の行った応急処置の状況

第9表 救急隊員の行った応急処置の状況

事故種別	応急処置		止血	被覆	固定	保温	酸素吸入	人工呼吸	胸骨圧迫		心肺蘇生	
	傷病程度	対象人員(人)							自動	自動		
急病	死亡	136				10	96	3			131	4
	重症	224		2	2	38	134	10			22	
	中等症	1,866	7	6	6	252	686	5			1	
	軽症	1,614	12	11	8	159	86					
	その他											
	計	3,840	19	19	16	459	1,002	18			154	4
交通事故	死亡	2					2				2	
	重症	7	4	1	4	2	5				1	
	中等症	28	7	7	14	7	11					
	軽症	147	6	20	27	4	2					
	その他											
	計	184	17	28	45	13	20				3	
一般負傷	死亡	14					7				14	
	重症	72	3	1	11	12	7				3	
	中等症	279	22	33	53	39	28					
	軽症	406	61	91	37	34	9					
	その他											
	計	771	86	125	101	85	51				17	
上記以外	死亡	13			3		8	1			13	2
	重症	71	2	3	3	12	26	2			4	
	中等症	421	7	4	17	53	104	1				
	軽症	67	8	13	3	3	1					
	その他											
	計	572	17	20	26	68	139	4			17	2
合計	死亡	165			3	10	113	4			160	6
	重症	374	9	7	20	64	172	12			30	
	中等症	2,594	43	50	90	351	829	6			1	
	軽症	2,234	87	135	75	200	98					
	その他											
	計	5,367	139	192	188	625	1,212	22			191	6

(備考) 1 1人につき複数の応急処置を行うこともあるため、応急処置対象搬送人員と事故種別ごとの応急処置等の計の数とは一致しない。



事故種別	応急処置 傷病程度	在宅療法継続			ショック パンツ	血圧 測定	心音 呼吸音 の聴取	血中 酸素 飽和度 測定	心電図	伝送	気道確保			
		* A	* B	* C							* 1	* 2	* 3	* 4
急病	死亡	1	1			8	17	12	110		134		3	85
	重症	5	1	1	3	209	77	208	207		62		3	17
	中等症	29	2	6	21	1,806	636	1,858	1,225		32		3	
	軽症	3			3	1,579	287	1,608	857					
	その他													
	計	38	4	7	27	3,602	1,017	3,686	2,399		228		9	102
交通事故	死亡						1		2		2			
	重症					6	4	5	6		1			
	中等症					28	20	28	20					
	軽症					143	37	145	22					
	その他													
	計					177	62	178	50		3			
一般負傷	死亡					2	3	2	11		14		4	7
	重症					69	3	69	15		3			2
	中等症					277	46	277	76		3			
	軽症					393	51	403	85		3		2	
	その他													
	計					741	103	751	187		23		6	9
上記以外	死亡					1	1		11		12			8
	重症					66	10	67	40		4			2
	中等症	6	5		1	408	93	415	208		2			
	軽症					67	8	67	15					
	その他													
	計	6	5		1	542	112	549	274		18			10
合計	死亡	1	1			11	22	14	134		162		7	100
	重症	5	1	1	3	350	94	349	268		70		3	21
	中等症	35	7	6	22	2,519	795	2,578	1,529		37		3	
	軽症	3			3	2,182	383	2,223	979		3		2	
	その他													
	計	44	9	7	28	5,062	1,294	5,164	2,910		272		15	121

2 在宅療法継続(いずれも内数)

\* A 在宅中心静脈栄養管理による点滴

\* B 気管切開・人工肛門等

\* C A・B以外の応急処置

3 気道確保(いずれも内数)

\* 1 経鼻エアウェイを使用している気道確保

\* 2 喉頭鏡・鉗子等による異物除去

\* 3 救急救命士がラリゲアルマスク等を使用した気道確保

\* 4 救急救命士が行った気管挿管処置

事故種別	応急処置 傷病程度	除細動	静脈路確保		薬剤 投与	血糖 測定	ブドウ糖 投与	エピペン 投与	その他 の処置	計 (件)
			心肺機能 停止前	心肺機能 停止後						
急 病	死 亡	11	60	1	59	27	1		7	628
	重 症	5	33	14	19	9	41	4	13	1,081
	中等症		12	12			203	17	45	6,826
	軽 症		3	3			99	12	38	4,762
	その他									
	計	16	108	30	78	36	344	33	103	13,297
交 通 事 故	死 亡		1		1	1				11
	重 症		1	1						40
	中等症		2	2			1			145
	軽 症						2		3	411
	その他									
	計		4	3	1	1	3		3	607
一 般 負 傷	死 亡	1	7		7	3			2	66
	重 症		4	2	2	2	1		1	204
	中等症		3	3			5		5	867
	軽 症								12	1,179
	その他									
	計	1	14	5	9	5	6		20	2,316
上 記 以 外	死 亡	3	5		5	4			1	63
	重 症		3	2	1	2			2	246
	中等症		1	1			5		5	1,329
	軽 症								7	192
	その他									
	計	3	9	3	6	6	5		15	1,830
合 計	死 亡	15	73	1	72	35	1		10	768
	重 症	5	41	19	22	13	42	4	16	1,571
	中等症		18	18			214	17	55	9,167
	軽 症		3	3			101	12	60	6,544
	その他									
	計	20	135	41	94	48	358	33	141	18,050

## 20 応急手当普及啓発活動の状況

第10表 応急手当普及啓発活動の状況

種別 月	実施要綱に基づく救命講習									救命講習以外						計
	普通救命講習Ⅰ	普通救命講習Ⅱ	普通救命講習Ⅲ	上級救命講習	応急手当普及員	普及員再講習	応急手当指導員	指導員再講習	入門コース	自治会	PTA 学校 保育園 等	事業所	婦人会	各種団体	その他	
1月	回数	1		1												2
	人数	13		8												21
2月	回数															
	人数															
3月	回数											2				2
	人数											35				35
4月	回数										1	3				4
	人数										25	93				118
5月	回数	1									1	2		1		5
	人数	17									12	47		12		88
6月	回数	1									9	5				15
	人数	20									227	115				362
7月	回数									5	3	3		1	1	13
	人数									75	57	14		60	20	226
8月	回数										2	2		1		5
	人数										85	40		8		133
9月	回数	1		1						4					1	7
	人数	16		10						155					9	190
10月	回数	3		2						3		3			1	12
	人数	38		17						200		51			20	326
11月	回数	3								4	1	3				11
	人数	32								73	20	26				151
12月	回数	1								1		4				6
	人数	10								8		60				78
合計	回数	11		4						17	17	27		3	3	82
	人数	146		35						511	426	481		80	49	1,728

## 21 事故種別出動・搬送人員状況(過去5年間)

第11表 事故種別出動・搬送人員状況(過去5年間)

年		種別	火 災	自 然	水 難	交 通	労 災
平成30年	出動件数(件)	1	0	11	349	59	
	構成比(%)	-	-	0.2	5.8	1.0	
	対前年増減比(%)	△ 88.9	-	22.2	△ 9.6	5.4	
	搬送人員(人)	1	-	6	353	59	
令和元年	出動件数(件)	4	0	13	357	34	
	構成比(%)	0.1	-	0.2	6.0	0.6	
	対前年増減比(%)	300.0	-	18.2	2.3	△ 42.4	
	搬送人員(人)	4	-	4	330	34	
令和2年	出動件数(件)	4	0	7	252	44	
	構成比(%)	0.1	-	0.1	4.8	0.8	
	対前年増減比(%)	0.0	-	△ 46.2	△ 29.4	29.4	
	搬送人員(人)	6	-	2	226	41	
令和3年	出動件数(件)	5	0	7	240	62	
	構成比(%)	0.1	-	0.1	4.2	1.1	
	対前年増減比(%)	25.0	-	0.0	△ 4.8	40.9	
	搬送人員(人)	1	-	1	214	60	
令和4年	出動件数(件)	10	3	4	227	62	
	構成比(%)	0.2	-	0.1	3.8	1.0	
	対前年増減比(%)	100.0	-	△ 42.9	△ 5.4	0.0	
	搬送人員(人)	8	2	0	184	62	

運 動	一 般	加 害	自 損	急 病	そ の 他	計
40	865	6	45	4,074	602	6,052
0.7	14.3	0.1	0.7	67.3	9.9	100.0
21.2	20.8	△ 14.3	40.6	2.2	6.0	4.3
38	810	5	25	3,801	560	5,658
26	804	9	36	4,107	516	5,906
0.4	13.6	0.2	0.6	69.5	8.7	100.0
△ 35.0	△ 7.1	50.0	△ 20.0	0.8	△ 14.3	△ 2.4
26	764	6	20	3,821	471	5,480
14	725	5	46	3,666	529	5,292
0.3	13.7	0.1	0.9	69.3	10.0	100.0
△ 46.2	△ 9.8	△ 44.4	27.8	△ 10.7	2.5	△ 10.4
14	686	5	26	3,402	476	4,884
12	818	8	37	3,960	510	5,659
0.2	14.5	0.1	0.7	70.0	9.0	100.0
△ 14.3	12.8	60.0	△ 19.6	8.0	△ 3.6	6.9
12	760	5	22	3,584	444	5,103
18	864	7	41	4,288	500	6,024
0.3	14.3	0.1	0.7	71.2	8.3	100.0
50.0	5.6	△ 12.5	10.8	8.3	△ 2.0	6.4
16	771	3	20	3,840	461	5,367